

(1) 神奈川県県央部での広域防災機能の拡充の効果

現状では、神奈川県県央部に広域レベルの防災拠点が位置づけられていないことから、県央部への緊急物資輸送や救援・復旧活動に際しては、厚木、藤沢、相模原、新横浜などの長距離で広範囲の支援が必要となる。上瀬谷地区を広域レベルの防災拠点として活用した場合には、神奈川県県央部における緊急物資輸送や救援・復旧活動の分担が適正化されるとともに、万が一防災拠点が被災した場合の代替可能性の向上も期待することができる。

